

平成27年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/>	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	長野 寛
		全体計画						経費区分		-		内線	3248
事務事業名	4121 交通安全対策事業												
所 属	130100 市民共創部・市民課												
施 策	03021600 交通安全対策の推進												
予算 科目	会計	01 一般会計											
	科目	020111 総務費・総務管理費・交通防犯費											
	事業	010000 交通安全対策事業											
事業目的						事業概要・効果							
交通安全対策の総合的かつ計画的な推進を図り、交通安全意識の高揚及び交通安全対策を推進する。						県内では高齢者が関与する交通事故割合が増えており、高齢者交通安全教室や世帯訪問等により、交通安全意識の啓発を図った。							

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成22年度 実績	平成23年度 実績
人身事故発生件数 214件 交通事故死者数 1名 警察署、交通安全協会等と連携した啓発活動 交通指導員・LPS隊員による街頭啓発活動等	人身事故発生件数 207件 交通事故死者数 3名 警察署、交通安全協会等と連携した啓発活動 交通指導員・LPS隊員による街頭啓発活動等
平成24年度 実績	平成25年度 実績
人身事故発生件数 202件 交通事故死者数 4名 警察署、交通安全協会等と連携した啓発活動 交通指導員・LPS隊員による街頭啓発活動等	人身事故発生件数 204件 交通事故死者数 1名 警察署、交通安全協会等と連携した啓発活動 交通指導員・LPS隊員による街頭啓発活動等
平成26年度 実績	平成27年度 予定
人身事故発生件数 197件 交通事故死者数 1名 警察署、交通安全協会等と連携した啓発活動 交通指導員・LPS隊員による街頭啓発活動等	警察署、交通安全協会等と連携した啓発活動 交通指導員・LPS隊員による街頭啓発活動等

指標名	人身事故の年間発生件数				
算式	須坂警察署での集計による				
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標				218
	実績	207	202	204	197
指標選定の理由	運転免許保有者数・自動車保有台数の増加、社会経済活動の24時間化等により、交通事故の発生が懸念されるため				
最終年度目標の根拠	事故多発か所等における安全対策の実施や道路交通環境の整備、関係機関と連携した交通安全意識啓発の取り組みを行うため				
指標名					
算式					
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成26年度 決 算	平成27年度 予 算
事業費		5,129	4,805
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	2,310	2,230
一般財源		2,819	2,575
人員数(人)	正規職員	0.6	0.6
	嘱託職員	0.0	0.4
	臨時職員	0.4	0.5
人員コスト	正規職員	4,114.8	4,114.8
	嘱託職員	0.0	1,090.0
	臨時職員	470.8	588.5
	計	4,585.6	5,793.3
市民一人当たりの経費		0.2	0.2
総額		9,714.6	10,598.3

(単位：千円)

平成26年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	570	交通指導員・LPS隊員活動謝礼
11節 需用費	1,071	交通指導員制服、装備品等
13節 委託費	63	交通安全教育センター清掃草刈委託料(望岳台区)
15節 工事請負費	192	路面標示設置工事
19節 負担金補助及び交付金	1,414	交通安全協会負担金 長野県民交通災害共済組合加入事務交付金
その他	1,819	臨時職員賃金・社会保険料、青パト他車両検査手数料

(単位：千円)

平成27年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	590	交通指導員・LPS隊員活動謝礼
11節 需用費	1,283	交通指導員制服、装備品等
13節 委託費	87	交通安全教育センター清掃草刈委託料（望岳台区）
15節 工事請負費	200	路面標示設置工事
19節 負担金補助及び交付金	1,447	交通安全協会負担金 長野県民交通災害共済組合加入事務交付金
その他	1,198	臨時職員賃金・社会保険料、青パト他車両検査手数料

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	普通
評価コメント	須坂市交通安全条例に基づき、市民の安全で快適な生活の実現に寄与することを目的としている	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	市民の交通安全意識の高揚及び交通安全を確保するため、国、県、警察署、交通安全協会等の関係機関及び団体と緊密な連携を図り、啓発活動及び道路環境整備等の総合的な交通安全施策の実施に努めている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	年4回の交通安全運動期間を中心に、国、県、警察署、交通安全協会等と連携を図っている	

振り返り（決算年度の取組み課題）

関係機関と連携し、須坂小学校周辺区域、北旭ヶ丘町・光ヶ丘ニュータウン区域へ「ゾーン30」導入
 幼児が犠牲となる交通死亡事故発生に伴う交通安全講習会「車の作る死角の危険と事故防止対策等について」を開催

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント	
高齢者の交通事故の増加抑制を重点に、引き続き、須坂警察署、交通安全協会、交通指導員、LPS隊員等と連携し、啓発に努める。	

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
2次評価コメント	
交通事故件数は減少傾向にあるが引き続き啓発を行う。	

外部評価

次年度以降の方向性	進め方の改善（拡大）
外部評価コメント	
横断歩道や道路整備などのハード面に関しては、関係機関と密接に連絡を取り、交通安全のソフト面の対応については、地域の方々のためにも、さらに啓発に努めていただきたい。市民に分かりやすい啓発を引き続きお願いしたい。	